

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-115391

(43)公開日 平成5年(1993)5月14日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 L 9/00	1 0 5 Z			
	D			

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平3-282643

(22)出願日 平成3年(1991)10月29日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 橋爪 清

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

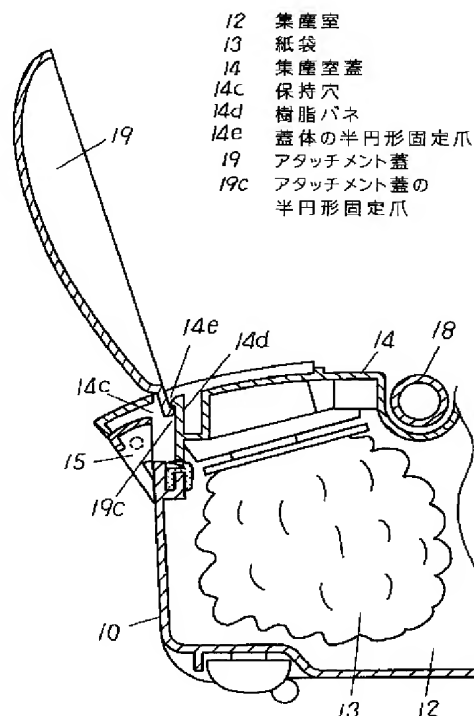
(74)代理人 弁理士 小銀治 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 電気掃除機

(57)【要約】

【目的】 使用性の向上、及び部品の破損等を防止し安全性の向上を図った、集塵室蓋にアタッチメント収納部を有する電気掃除機を提供する。

【構成】 アタッチメント蓋19の前方両端に前方に突出した爪突起19bを設け、前記爪突起19bの最先端下面に半円形の突起19cを形成すると共に、集塵室蓋14に前記アタッチメント蓋19の爪突起19bを保持するための保持穴14cを設け、この保持穴14cの後端面に集塵室蓋より一体的に樹脂バネ14dを形成し、かつ前記樹脂バネ14dの上端前方に半円形の突起19cを形成した、集塵室蓋にアタッチメント収納部を有する電気掃除機。



【特許請求の範囲】

【請求項1】紙袋等を装着する集塵室と、この集塵室の上方開口部を覆うと共にアタッチメント等を収納する集塵室蓋と、この集塵室蓋にホースを取り付ける吸気口と、前記アタッチメントの上部を覆う着脱自在のアタッチメント蓋とを備え、前記アタッチメント蓋は前方両端に前方に突出した爪突起を有し、前記爪突起の最先端下面に下方に突出する半円形もしくはそれに類する突起部を有すると共に、前記集塵室蓋に前記アタッチメント蓋の爪突起を保持するための保持穴を有すると共に、この保持穴の後端面に集塵室蓋より一体的に形成する直立した樹脂バネを設けると共に、この樹脂バネの前方上端に半円形もしくはそれに類する突起部を設けた電気掃除機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、集塵室を覆う集塵室蓋にアタッチメント収納部を有する電気掃除機に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のこの種の電気掃除機としては、特願平1-144591号に示すような構成が一般的であった。以下、その構成について図5を参照しながら説明する。

【0003】図に示すように、1はファンモーター2（図示せず）を内蔵した本体、3は集塵室を覆う集塵室蓋で、回動自在にホース4を取り付ける吸気口3a及びアタッチメント5を収納するアタッチメント収納部3bを有している。6は回動自在に集塵室蓋3に取り付けられたアタッチメント蓋である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記図5に示すような構成では、回動自在のホース4が後方を向いてもアタッチメント蓋6が開閉出来るようにするため、アタッチメント収納部3bと吸気口3aとを離して構成しなければならぬアタッチメント収納部3bが小さくならざるを得ない上、開いているアタッチメント蓋6に無理な力が加わった場合、アタッチメント蓋6の回転軸が簡単に破損してしまうといった課題を有していた。

【0005】そこで、本発明は使用性が良く、かつ破損等の問題を解決した、集塵室蓋にアタッチメント収納部を有した電気掃除機を得ることを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するための本発明の手段は、アタッチメント蓋の前方両端に前方に突出した爪突起を構成し、前記爪突起の最先端下面に下方に突出する半円形もしくはそれに類する突起部を構成すると共に、集塵室蓋に前記アタッチメント蓋の爪突起を保持するための保持穴を形成すると共に、この保持穴の後端面に集塵室蓋より一体的に形成する直立した

樹脂バネを設け、この樹脂バネの前方上端に半円形もしくはそれに類する突起部を設けるものである。

【0007】

【作用】上記の手段により、アタッチメント蓋の着脱は集塵室蓋の吸気口から離れた所を持って行えるため、ホースに邪魔されることなくアタッチメント蓋の着脱が行え使用性の改善が図れると共に、アタッチメント蓋を爪突起を回転中心にして開ける場合、アタッチメント蓋を90度からさらに開けていくと、爪突起の最先端下面に設けた半円形の突出部が、集塵室蓋に設けた樹脂バネの前方上端の半円形突起部に当接するため、アタッチメント蓋をこの状態で仮固定することができる。なお、この状態でアタッチメント蓋に無理な力が加わった場合、アタッチメント蓋と集塵室蓋とは完全に勘合している訳ではないので、アタッチメント蓋の爪突起部と集塵室蓋に設けた樹脂バネ部とはそのバネ性により容易に外れ、アタッチメント蓋の破損等に至る事はなく、安全性の確保が図れる。

【0008】

【実施例】以下、本発明の一実施例を添付図面にもとづいて説明する。図1～図4において、10はファンモーター11を内蔵する本体、12は紙袋13等を装着する集塵室で上方は着脱自在の集塵室蓋14で閉塞されている。15は前記集塵室蓋14に回動自在に取り付けられた集塵室蓋14の閉塞時の固定を行う尾錠、14aは集塵室蓋14に設けられた吸気口で、略し字状に形成したホースの取り付け部16を回動自在に取り付けることができる。17は前記ホースの取り付け部16を前記吸気口14aに取り付けるためのホースの固定爪、14bは集塵室蓋14に形成されたアタッチメント収納部で、アタッチメント18を収納している。19は前記アタッチメント収納部14bを覆うアタッチメント蓋で、前方にU字状の切り込み形状19aを形成しかつ前記U字状の切り込み形状19aの両端に爪突起19bを有すると共に、この爪突起19bの先端下面に半円形の固定爪19cをしている。14cは前記集塵室蓋14に設けられた前記爪突起19bを固定するための保持穴で、14dは前記保持穴14cの後方に集塵室蓋14より一体的に構成された樹脂バネ、14eはその樹脂バネ14dの上端前面に形成された半円形の固定爪である。

【0009】20は集塵量を表示するインジケーター、21は前記ファンモーター11を覆うと共に入力コントロール用のスライドボリューム22等を保持するモーターカバー、23は排気フィルター、24はその排気フィルター23を固定するための着脱自在のフィルター押え、25は前記本体10に着脱自在に取り付けられた排気口である。

【0010】次に、この一実施例の構成における動作を説明する。ファンモーター11の駆動によりホース16より吸引された塵埃は、集塵袋13に捕集され、浄化さ

3

れた空気は排気口25より機外へ排出される。アタッチメント蓋19の着脱は集塵室蓋14の吸気口14aから離れた所を持って行えるため、ホースの取り付け部16がどの方向を向いていても邪魔されことなくアタッチメント蓋19の着脱を行うことができる。また、アタッチメント蓋19の2箇所の爪突起部19bを回動中心にして開ける場合、アタッチメント蓋19を90度からさらに開けていくと、爪突起19bに設けた半円形の固定爪19cが、集塵室蓋14に設けた樹脂バネ14dの上端前面に形成された半円形の固定爪14eに当接するため、アタッチメント蓋19をこの状態で仮固定することができる。なお、この状態でアタッチメント蓋19に無理な力が加わった場合、アタッチメント蓋19と集塵室蓋14とは完全に勘合している訳ではないので、アタッチメント蓋19の爪突起部19bと集塵室蓋14に設けた樹脂バネ14dとはそのバネ性により容易に外れ、アタッチメント蓋19の破損等に至る事はないものである。

【0011】

【発明の効果】以上のように、本発明の集塵室蓋にア

4

の向上が図れると共に、部品の破損等を防止し安全性の向上を図ることができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示した電気掃除機の平面図

【図2】本発明の一実施例を示した電気掃除機の斜視図

【図3】本発明の一実施例を示した電気掃除機の断面図

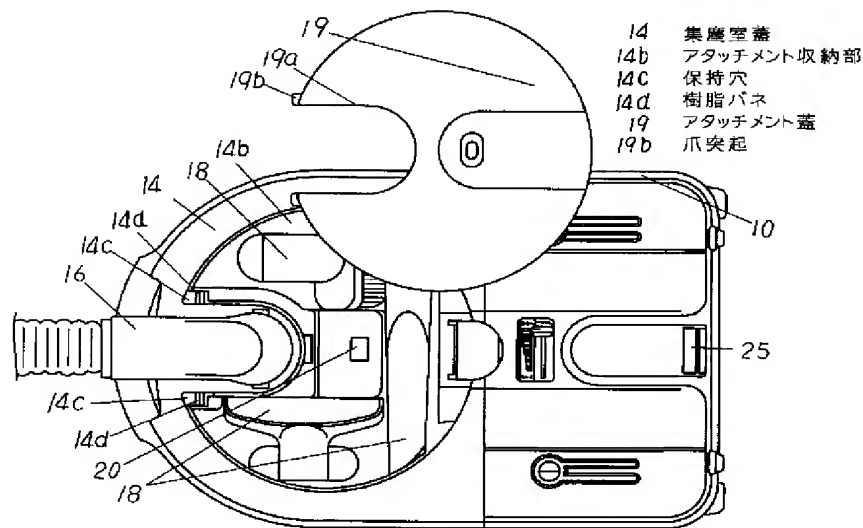
【図4】本発明の一実施例を示した電気掃除機の、アタッチメント蓋の爪突起部の部分断面図

【図5】従来例を示した電気掃除機の前面斜視図

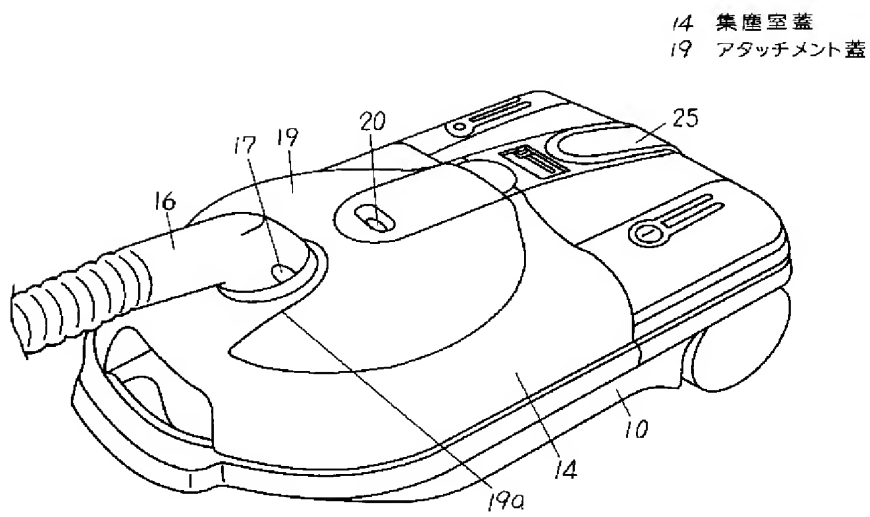
【符号の説明】

- 12 集塵室
- 13 紙袋
- 14 集塵室蓋
- 14b アタッチメント収納部
- 14c 保持穴
- 14d 樹脂バネ
- 14e 蓋体の半円形固定爪
- 19 アタッチメント蓋
- 19b 爪突起
- 19c アタッチメント蓋の半円形固定爪

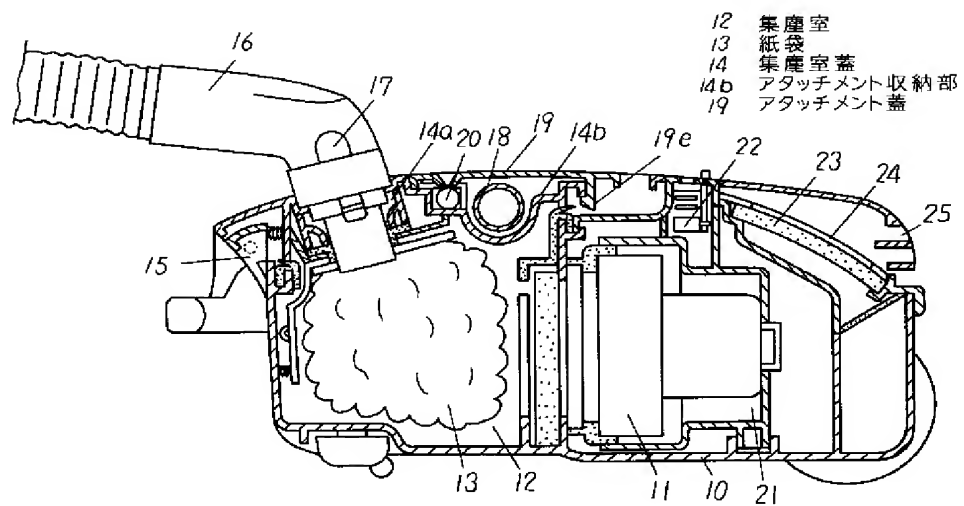
【図1】



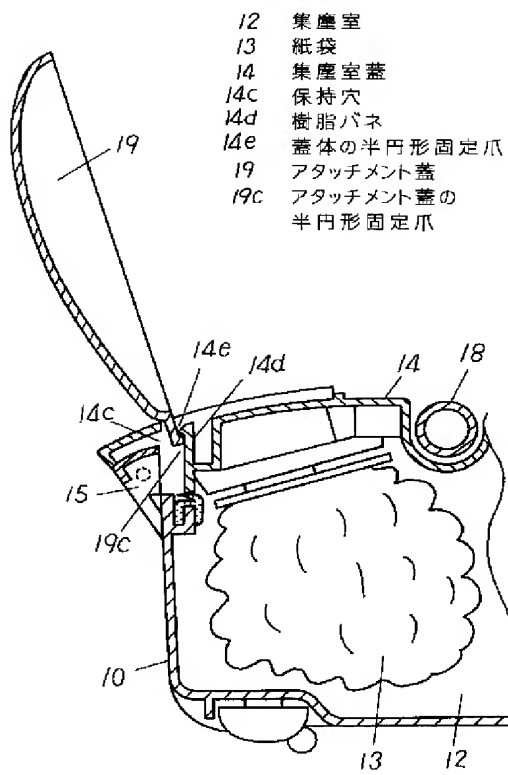
【図2】



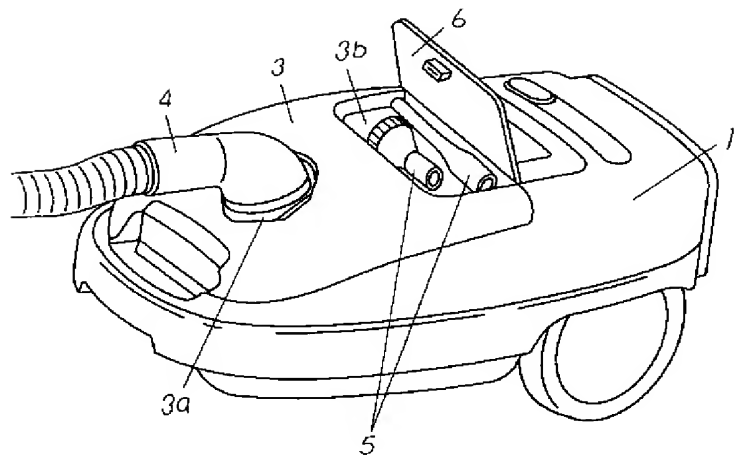
【図3】



【図4】



【図5】



PAT-NO: JP405115391A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05115391 A
TITLE: VACUUM CLEANER
PUBN-DATE: May 14, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
HASHIZUME, KIYOSHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD	N/A

APPL-NO: JP03282643
APPL-DATE: October 29, 1991

INT-CL (IPC): A47L009/00 , A47L009/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a vacuum cleaner having improved usability, preventing parts from breakdown or the like to improve safety and having an attachment receiving section in a dust chamber lid.

CONSTITUTION: A vacuum cleaner having an attachment receiving section in a dust chamber lid is constituted in which an attachment lid 19 is provided on both front ends with forward projecting claw projections formed on the lower surface of the front end thereof with a semicircular projection 19c, while a dust chamber lid 14 is provided with a holding hole 14c for holding the claw projection 19b of the attachment lid 19, the holding hole 14c is formed on the rear end surface with a resin spring 14d integrally with the dust chamber lid and the semicircular projection 19c is formed in front of the upper end of the resin spring 14d.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio